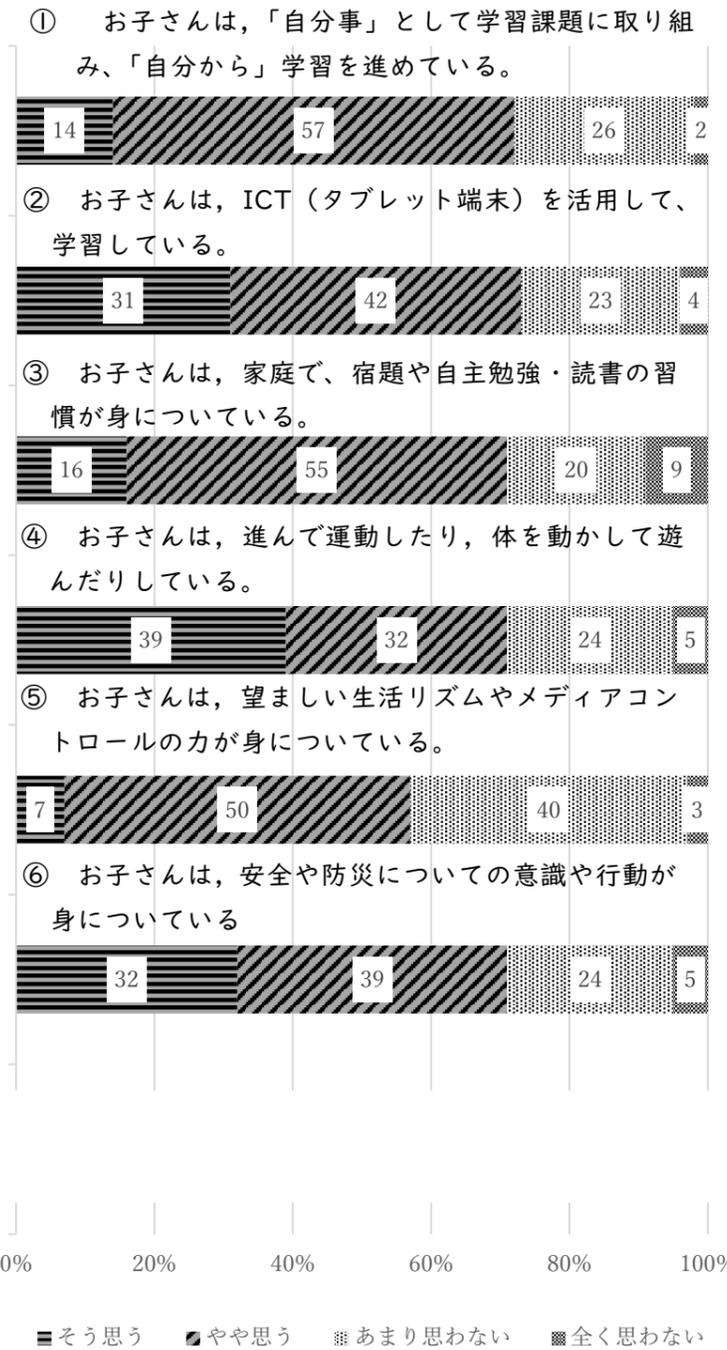


保護者の皆様からのアンケートへの回答ありがとうございました。今後とも家庭・地域とともに、よりよい学校づくりに取り組んでまいります。



「学力の育成」①、②、③について

学校研究のテーマを、昨年度より「自らまなびをつくる子供の育成」とし、子供たちが主体的に学ぶ授業づくりを目指してきました。今後とも、基礎的・基本的な学習の定着と、課題設定・課題解決学習のバランスを大切に、子供が課題を自分事としてとらえ友だちと関わりながら解決し、学ぶ楽しさを味わえるような授業改善に努めていきます。

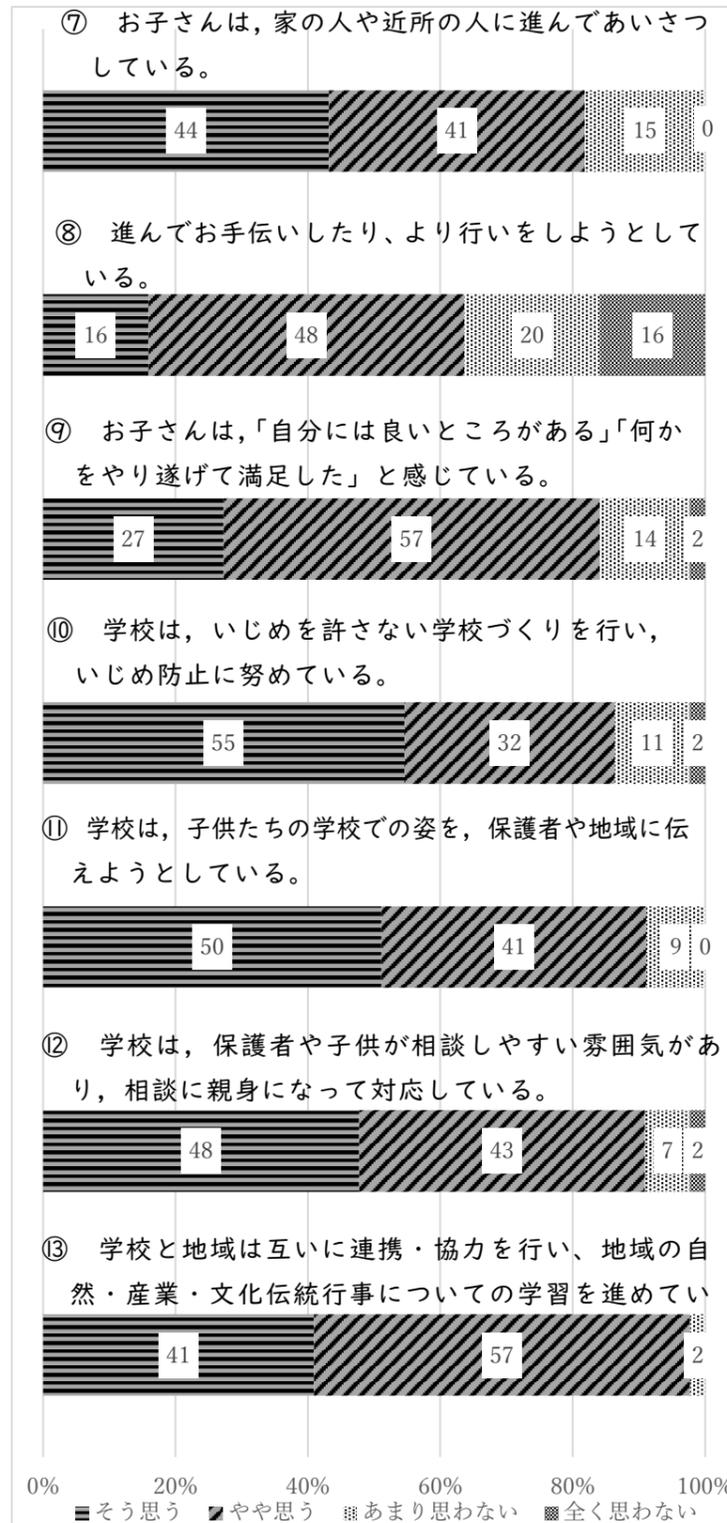
また、各ご家庭と連携を図りながら引き続き家庭学習の習慣化に取り組み、より一層の学習内容の質と量の充実を目指していきます。

「身体の育成」④、⑤、⑥について

コロナ感染症による運動の制限も緩和され、伸び伸びと体を動かして遊ぶ子供が増えていますが、運動能力調査の結果を見ると、走力、柔軟性に課題があります。教科体育でダッシュやストレッチ等を継続的に取り入れ、基礎的な体力を高めていきます。

生活リズムについては、半数以上が望ましい生活リズムを確立しています。昨年と比べると生活リズムやネット使用の約束が身についている・できていると答えた子供の割合が増加しております。

ICTを安全、モラルを守りながらも、便利なツールとして使いこなせる力を各ご家庭と共に育てていきたいと考えます。



「心の育成」⑦、⑧、⑨について

あいさつは、「している」「ややしている」と答えた子の割合が高いですがいつでもどこでも元気なあいさつができるような意識付けを継続して取り組んでいきます。

進んでお手伝いやよい行いをすることは課題の一つです。縦割り班での清掃活動、ボランティア活動や道徳教育を通して、思いやりの心や社会性を育てていきます。

「できた」という達成感は自己肯定感を育て、「やる気」の源となります。⑨について84%がよいと評価しています。すべての子供が「自分が好き」と思えるような教育を目指してまいります。

その他経営 ⑩～⑬について

「いじめ」はあってはならないことです。子供達の生活の中でおきる様々な感情の行き違いやトラブルへの向き合い方やその解決方法を考える望ましい行動や心の在り様を身につけさせたいと考えております。学校の教育活動は、保護者の皆様と教職員が連携を図ることが何より重要な事と考えております。お子さんの様子で気になる点がございましたら、いつでもお気軽にご連絡いただきますようお願いいたします。

学校と地域の連携については、様々な社会情勢の変化に応じて、価値ある実体験ができるような工夫をして、これからも教育活動を行ってまいります。